

ふるさと歴史散歩 220

～松前史談会レポート～

古泉駅界隈えとこめぐり I

古泉駅前の巡回バス乗り場の奥にある、ピオトープ「ちょっと昔の水辺」では、松前町に昔からいた生き物たちの生きる姿を身近に眺めることができる。

ピオトープとは、bio(バイオ:生命)と topos(トポス:場所)の合成語で、動物や植物が安定して生活できる生息空間のことである。ここでは、逃げたり隠れたり、食べたり食べられたりするのための活動は生き物たちに任されている。クモ類の餌になる昆虫もたくさんいる。個々の生き物の残したものは、「ゴミ」ではなく「資源」として再利用されている。地下水から引いた小川にはコウホネなど水辺の植物があり、メダカが泳いでいる。昔は付近の川辺で見られていた光景だが、その景色はなくなった。

利便性や効率を求めてつくられたコンクリートなどの人工物で消えていった自然の姿を伝えるための場所として、刈り取られた草はまとめて放置され雑然とあふれていて、動植物の自然の循環を大切にしている。

現在、一番厄介な外来種のイネ科のタチスズメノ

ヒエは、小さい頃は周りの植生に紛れていて、出穂するころぐいぐい茎を伸ばして人の背丈くらいになる。道端に生えたと通りにくいことおびたしい。しかし、一方でこの茂みを利用する昆虫にはありがたい茂みでもある。

子供たちが目を輝かせる、身近にある自然観察に足を運んでみることをぜひお勧めしたい。次号に続く。(平井屯記)



■ピオトープの入り口
整備されたエミフルの一面にあって、樹木や雑草が生い茂り、けげんに思う人もいるようだが、自然の残る貴重な場所である

■ピオトープ内の小川
水草や魚が自然に生きられるよう、地下水を引き込んでいる

9月9日④の歴史散歩は地蔵町駅界隈を訪ねます。8時30分に松前庁舎南駐車場を出発。地蔵町駅で合流も可。お申し込みは麻生まで。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136

community learning center 公民館 だより

【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398



④ 初めて見る腹話術に夢中
⑤ 「あんころもち、あんころもち」忘れないように歌いながら歩く



人形劇公演

7月8日、人形劇サークルへそ太郎による公演を開催し、松前小学校の児童70人が参加しました。演目は、「あんころもち」「ほっかむり平六」、そして人形を使った腹話術まで。子どもたちに最も人気があったのは、あんころもちを買いに行く「あんころもち」というお話の人形劇です。買う物を忘れないように、「あんころもち、あんころもち」と歌いながら歩いていましたが、犬を見掛けると「ワンころもち、ワンころもち」に変化してしまいます。最終的には、あんころもちを買って一安心。

笑いあり、体験あり、また感動ありの公演を楽しんだ子どもたち。最初から最後まで目を離せない展開にきぎ付けになっていました。

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140
FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆9月の休館 29日(金)

おはなし会
30日④ 19時～
文化センター
ホワイエ

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶ 戯場国の怪人
乾緑郎・著
新潮社



栈敷席を予約し続ける謎の人物のうわさが立つ江戸市村座。芝居小屋の地下でうごめく怨讐・狂恋・役者の業。「オペラ座の怪人」をオマージュし、舞台を日本に、オペラを歌舞伎に置き換えた、伝奇浪漫長編小説

▶ 獣の夜
森絵都・著
朝日新聞出版



原因不明の歯痛に悩む女性、長期休暇中の中年男性、サプライズパーティーを予定する女性…。一編読むごとに心が前向きになるような、ビターだけど温かい、日常のちょっとした不思議をつづった7つの傑作短編集

▶ カモナマイハウス
重松清・著
中央公論新社



不動産会社で空家のメンテナンス業に携わる孝夫。ある日、妻の実家が気鋭の空間リノベーターの標的にされようとしていることを知り…。空き家の数だけ家族があり家族の数だけ事情がある。空き家を巡る涙と笑いと家族の物語

西公民館

毎月順番に活動内容をお届け!

人形劇公演

▶ 科学でかなえる世界征服
ライアン・ノース 著 / 早川書房



マーベルコミックの原作者である作者が「スーパーヴィランが負けなくていいならどうなるだろう?」を本気で考えたポピュラーサイエンス本。あなたの世界征服の野望が現実

▶ NHK 理想の本箱
幅允孝・著
NHK 出版



悩み多き季節を生きる現代人の心に寄り添う本を紹介するNHK Eテレの番組を書籍化。「将来が見えない時に読む本」など、番組で取り上げた8テーマ24冊に加え、新たに32冊をセレクト

▶ 雨と風と光の名前
北山建穂・著
みらいバブリック シング



小夜時雨、桜流し、天使のはしご。雨の名前、風の名前、移りゆく自然の事象のほとんどに付けられた名前。日本人の感性の素晴らしさを改めて感じることができる1冊